



延岡市陸上競技場における高校総体第36回全国高校登山大会選手宣誓式。写真中央左の緑の旗の旗手が長野県代表・上田高校山岳班のキャプテン。(競技会場は延岡市大崩山)



同窓会報 第26号
 平成4年10月1日
 (社)上田高等学校同窓会
 〒386 上田市大手1-9-8
 TEL/FAX 0268-22-3146
 (題字は金子理事長筆)
 (発行部数 23,500部)
 印刷所 田辺印刷(株)

第23代学校長に 藤澤愛唄先生

依田恒雄前校長の勇退をうけて、本年四月母校の校長に、前長野県高校教育課長の藤沢愛唄先生が着任された。

県高校教育課長を歴任された先生を母校に迎えるのは第17代新津真澄校長以来二人目で、新校長の手腕が期待される。

二階建て小体育館完成!!

多目的部分に夢が、母校東北隅の緑の大樹に抱かれて、念願の県下高校初の二階建て「小体育館」が関係者の尽力により本年四月十三日に完成した。

二階体育館部分は床板のかがやきのように生徒もはつらつと活動していて、壮快な空間となっている。



市庁舎6階屋上から東南眼下の新体育館

(社)上田高等学校同窓会
 平成4年度

会員大会(総会)ご案内

★期日 10月31日(土)

会場 ハニーウェル(上田市農協会館)
 TEL 0268-25-2874
 上田市大手二丁目(上田公園前) 上田駅より徒歩15分

受付 16:00より
 開会 17:00
 懇親会 17:45~19:00
 会費 2,000円

お堀 ばた

◎:我々の同期も、毎月例会を開いている。この例会に、時には遠来の飛び入りもある。八月は東京から帰省した友が仲間に加わった。遠来の友を迎えて夜遅くまで話に花が咲いた。東京の友人たちの近況など、話し合っているうちに「俺達の頃は、屋代から軽井沢まで、あるいは群馬県嬬恋村からも集まった。様々な個性をもったヤツがいて楽しかった」といった話になった。

◎:今の高校は通学区があり、地域の高校といった感がある。もともと、地域の違う生徒が集まってこそ色々な意味で、高校生同士刺激しあえるのではないだろうか。長野県の高校が十二通学区になったのは昭和四十九年だ。それ以来一度も、通学区の見直しがされていない。

◎:県内では、高校の大学進学率の低下から、通学区問題が浮上り、今年から通学区の見直し論議が始まった。「通学区の見直しは、学校間格差が広がるから反対だ」という意見、「中学生に学校の選択の幅を広げるため通学区は廃止しろ」、あるいは「隣接する通学区への入学を認める」など様々な意見がある。

◎:前号のこのコラムで昔、真田軍がこの上田で徳川の大军を破ったように、今の母校に徳川の大军(東京大学)に立ち向かう気力があってほしいと思った。通学区のあることが、その力を削いでいるのではないだろうか。我々の例会の話題は、単に懐古趣味ではない。成長過程を顧みての話だ。通学区を見直す時は来ていると思うがいかがだろうか。(香山)

紙面案内

- P2 新校長プロフィール、代議員会・決算・予算
- P3 支部の近況、受賞者紹介
- P4・5 (カラ)ふるさとだより、特集「H・シゲタ」
- P6 伝統のクラブ活動
- P7 O・B会通信、同期会だより、計報
- P8 (カラ)母校の四季写真、事務局だより

インタビュー

藤澤愛僖新校長 不安と情熱



「思ってもいなかったことで、えらいことになった」と、上田高等学校長就任が決った時の感想

を、小柄な体をさらにすくめ、
「びす顔」を消されて話された。
上田は、昭和三十三年、教員

生活の第一歩を踏み出した初任校である。以来、二度目の県教委事務局務めで、管理係長をへて高校教育課長在任一年の後の現場だけに「勤まるだろうか？」という不安と、初任当時、生徒やクラス数は少なかったが生徒の迫力があつた時代から三十有余年「建物立派になった」が力量が低下しているがための実情を熟知しているがための責任感が交錯しての重圧感か？

いまはあまり聞かれない「捨て子拾い」の役も務めてもらつた名付け親は日蓮信者の親類でいまは故人。その名付けの由来

を聞くすべもない。「つねよし」の読み仮名は、自分の間戸籍上にも記載されていたとか。漢字名は「名は体を現わす」とおり人を「愛し、人に喜ばれる」ところを好む性格で、普段呼ばれているとおり「アイキ」ヨウ(愛嬌)があり、円満さを感じるお人柄である。

事務局を持つ関係で、県高校体育連盟会長を務めていることもあり、野球の敗退に残念ながら高校総体出場の出岳班にも期待を寄せるほどスポーツに関心も抱く西洋史専攻の先生。

生徒との距離感の隔離の拡大を心配する他、九月から月一回の週五日制が実施されることで、来年度には生徒が「自主的に学べる場や時間を活躍できるよう」な方策をとりたいと、行政事務を考へ、また、ご自身は上田高校同窓生ではないが、校長として同窓会が学校職員、生徒に寄せる「熱い思いを伝えたい」と胸に秘める情熱を語られる、暑い夏の午後ひと時。新校長のインタビューを終えた。

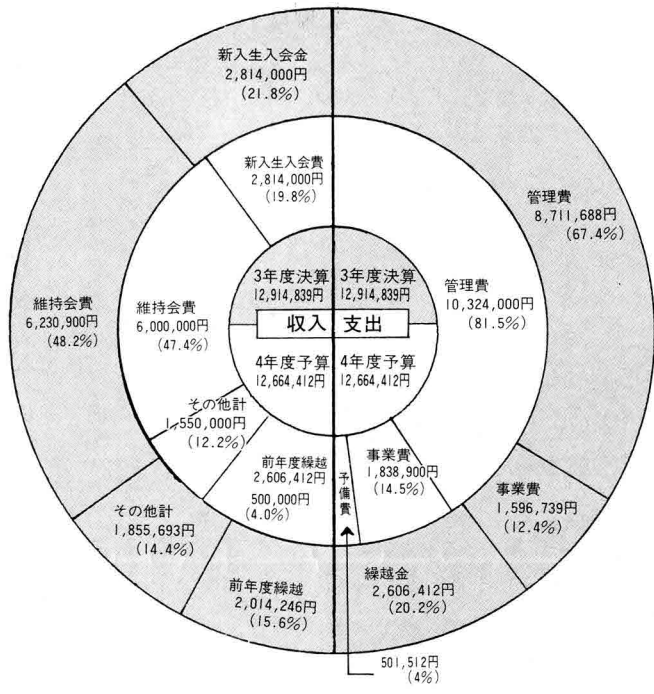
(似顔絵は米津福一(53)画、文責横山(47))

代議員会七選考委員を選任 会員大会で役員改選

本部役員の改選期を迎えた本校同窓会平成四年度定例代議員会は、さる五月二十三日に開き三年度事業報告、一般会計、特別会計収支決算を承認、四年度事業計画案、一般会計収支予算案を決定したほか、任期満了による理事二十名、監事三名の改選にあたって選考委員に理事から甲田英久(41)、水野春海(42)、代議員から藤森富男(40)、宮原毅(49)、近藤正司(54)、柳沢章雄(59)、河田純(70)の七氏を選び、選考された役員候補者が会員大会で承認決定される。

会員大会は、一面別掲のとおり開催されるが、実行委員会担当者の増加を期待している。

(社)上田高等学校同窓会 一般会計決算・予算額ならび構成比



働き盛り...67期



67期代議員 飯島康典・池村修三・松高 久・宮島幹雄・桜井純一



重点目標へ更に前進を

等原各理事、母校から教頭の野口先生はじめ、依田、田村両先生にご多忙の中、ご臨席をえ、同窓会、母校の近況等を含めた心暖まる祝辞をいただき、続いて小林巳根夫前支部長(23)の乾杯の音頭で懇親会を開宴した。飲むほどに各界で活躍している会員同士が随所で名刺を交換し、現況を語り合ったり、交歓する姿が見られ、終始和やかなうち、来年の再会を誓いながら終了した。

同窓会は、親睦と相互理解促進の機会であるが、個人の自由意思にかかわるものという大変難しい問題があるとして、総会では、今後も、(1)組織の強化、(2)財政の健全化 (3)各期同窓会の活性化、の三点を、引き続き重

長野支部は、平成四年度総会(七夕会)を恒例の七月七日(七夕)の夜、長野市山王共済会館で過去最高を数えた昨年を上回る百三十二名が出席し、盛大に開催した。

会員名簿作成を検討

長野支部

水野副理事長、小林、甲田、小

県人会に14が同窓者

北海道支部

北海道支部は、五月二十九日午後七時から札幌市中央区「田舎」で恒例の同窓会を開催した。出席は清水進(35)、桜井武(43)、三輪司(49)、平尾三郎(51)、矢嶋俊彦(59)、大谷文昭(65)、松山英俊(66)、山浦達朗(19年入学、陸軍幼年

学校)、清水弘(教諭27・28年)の諸氏。

平尾札幌大学教授から、最近の学生の社会、政治、国際等の問題に関する意識について、有意義な話があり感銘を深くした。その後は、いつも通り母校、郷里の話に花が咲き、夜の更けるのも忘れ、盛会であった。また、七月三日に「信濃会」(長野県人会)が札幌市内「宮の森ガーデン」で開催され、共

同通信北海道支社長に中島宏氏(5)が着任したこともあり、信濃会副会長兼事務局局長山浦達朗氏の尽力で出席者の四分の一を上田高校出身者で占めたほど。八月末か九月上旬に中島宏氏の歓迎会を兼ね、支部同窓会を開催する予定。道内の大学に進学している同窓生を招待する予定とのこと。

受章おめでとうございます

平成3年秋 叙勲

- 黒坂 周平氏 (30期) 勲五等瑞宝章
- 宮島 康衛氏 (30期) 勲五等双光旭日章
- 松山 潔氏 (35期) 勲五等旭日中綬章
- 矢嶋 仁氏 (38期) 勲四等旭日小綬章
- 小林 忠司氏 (43期) 藍綬褒章

平成4年春 叙勲

- 片桐 孝氏 (35期) 勲五等双光旭日章
- 田口 玲氏 (36期) 黄綬褒章
- 宮下 貫三氏 (39期) 勲四等瑞宝章

洪沢氏(47)が芸術選奨に

平成三年度芸術選奨文部大臣賞に俳優の加藤剛さんら十五名が選ばれたが、その中に同窓の詩人洪沢孝輔氏(47)が含まれた。

同氏は、真田町出身、母校から東京外語大、東大大学院で仏文学を専攻。明大教授を勤めていたが、平成三年の「啼鳥四季」で円熟した奥深さを認められた。

盛大に第二回総会

関西支部

関西支部は、第二回総会を九月十二日、大阪市西区のパークホテルに八十数名が参加し、盛大に開催した。

母校の状況

(平成四年五月一日現在)

学年	全定制				全日制				定時制					
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	4年	計	1年	2年	3年	4年	計
クラス数	9	10	11	30	1	1	1	1	4					
生徒別	男	243	246	282	771	14	7	13	10	44				
	女	161	203	213	577	7	6	6	9	28				
計	404	449	495	1,348	21	13	19	19	72					

生徒数 1,420名(女子 42.6%) 教員・講師 84名
事務職員 6名 助手・校用技師 5名 学校長 藤沢愛徳
教頭 野口直巳 定時制教頭 笠原伸二 事務長 中原喜八郎

52期生に告ぐ!!

(昭和29年卒業)

同期会開催

とき：10月31日(土) 午後7時～8時半
ところ：ささや(大門町) TEL22-0128
会費：5,000円

52期生同期会を10月31日に開催。
奮ってご出席下さい。

- 52期クラス幹事 / 伊勢隆・石森啓一郎・宮本寛文
草刈貞行・山崎博太・片桐道夫
高野賢一・竹内真弘・滝沢千恵子
栗木茂・山本卓・中村正明
手塚宏・宮坂直次・斉藤晃
太田英雄・西沢澄人・宮田美喜雄
吉崎浩太郎 竹下悦男

楽しい集いの場
結婚式場・宴会
すし・べんとう・折詰
 ささや TEL22-0128(代)
上田市大門町

ふるさとだより



「ふるさとだより」今年、祭りと写真家ハリー・K・シゲタを特集しました。

祭りは、御柱祭と真田まつり、それに母校の松尾祭。シゲタは上田中学一年修了でアメリカに渡り、商業写真家としてアメリカで活躍しました。その作品などが上田市に寄贈される見通しでもてきました。

ふるさとの祭り

生島足島神社(上田市下之郷)御柱を曳くエネルギーには圧倒は、上小地方でも大きな神社です。

御柱祭の里曳きが行われたのは四月十九日でした。雨が降ったり止んだりする中、氏子たちは歩行者天国です。

上田高校NOW

松尾祭ルポ

上田高校の文化祭、松尾祭は七月十一、十二日の二日間行われました。普段母校の前を通りながらも校内に足を踏み入れる機会は余りありませんが、この時とばかりに母校を訪ねてみました。



あの古めかしさも、堂々とした校門を入ると、まず目に入ってきたのがアンデパンダン展、通称「アンパン」と呼ばれているものでした。

松尾祭が始まる一週間ほど前学校の前を通ると、生徒たちがあちこちグループになって、何かしている様子が見えていました。それがこの「アンパン」だったのです。

聞くところによると、アンパンは一年生から三年生までの各クラスが、ひとつずつ製作するのだそうです。

大きなレリーフや砂絵、そして小さな像となかなか見栄えがします。「ルパン三世」「アンパンマン」といった漫画の主人公のほかPKO協力法案採決でもめた国会を風刺したものなどさまざまな作品が並んでいました。

中でも、平和への願いを込めて製作したという「ゲルニカ」(写真)は力作と見えました。



かに入りますと体育館からの軽音楽が響きを増して、お化け屋敷の行列ができています。文化系クラブの発表も行われていた見学者の数は少なくなっていました。酸性雨の研究では、酸性雨つららの場所を地図に落とし示すなど地味なものですが、調査の努力のあとがうかがえます。

この背景には、とかく文化部中心になりがちな文化祭に、体育部の生徒たちにも参加する場をとの願いもありました。

アンデパンダンは、新聞紙を細かくちぎり、水でドロドロにし、洗濯ノリで固めた紙粘土を使い、骨組みの上にもりつけて「像」とします。各クラスの団結力が見えるものといえます。

工業団地建設進む



国から指定されている東信地方の工業圏域「浅間テクノポリス」の中核的工業団地となる上田リサーチパーク造成工事が今春完成しました。(写真)

上田市下之郷の五三(ククター)余りに十二区画が造成され、五社一事業協同組合の進出が決まっています。すでに一部で工場の建設工事も始まりました。

Human Create

KOTOHIRA

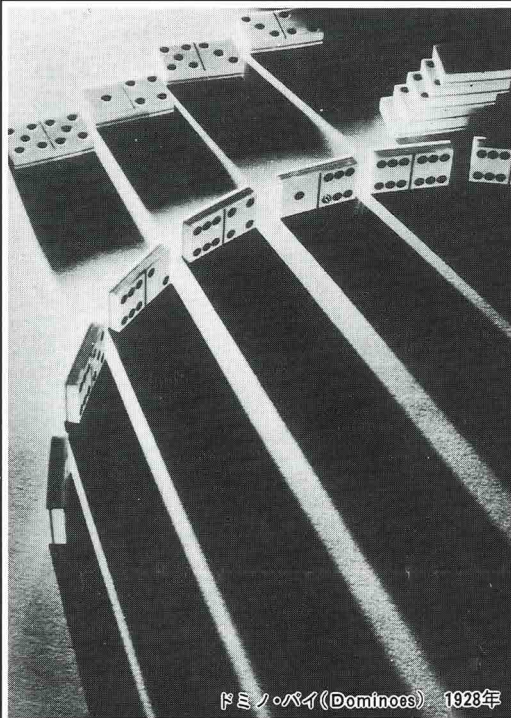


コトヒラ工業株式会社

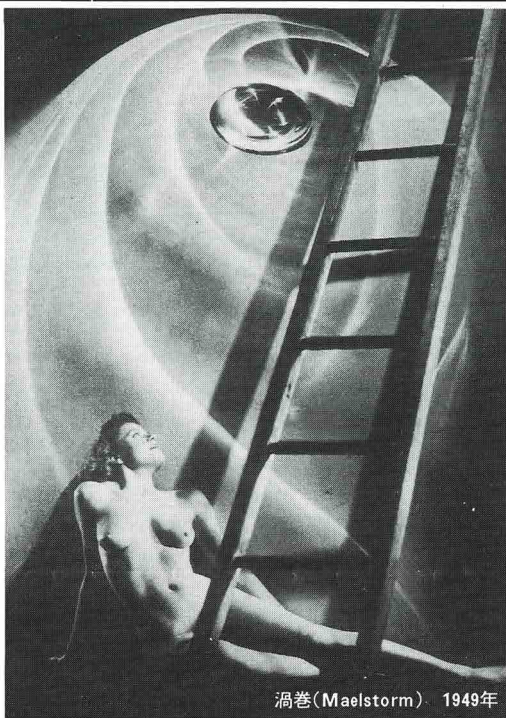
社長◆手塚 伸(51期) 専務◆手塚 宏(52期)

本社工場●長野県東部町滋野1320
 佐久工場●長野県北佐久郡浅科村塩名田
 上田工場●長野県上田市大屋353

同窓会会員名簿

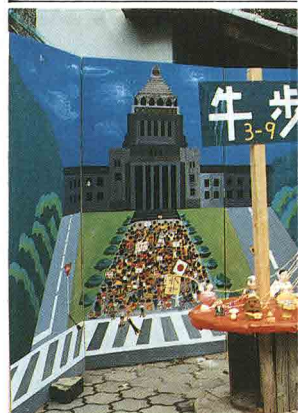


ドミノノバイ(Dominoes) 1923年



渦巻(Maelstorm) 1949年

は雨と汗とでぐしょり濡れながら、力を合わせて御柱を曳行しました。
御柱は、上の宮一の柱・二の柱、下の宮一の柱・二の柱の四本です。
生島足島神社の御柱祭には、諏訪神社の木落とし、川越えと
上田民踊連合会二五〇人が道
いっばいに踊りを披露したり御
柱祭にちなんで「街曳き(写真)」
も行われました。また、めずら
しい諏訪市榊若長持保存会によ
る「長持ち」は道行く人の注目
的、にぎやかな祭りとなりま
した。



アンパン
物語
アンパンダ
ンは松尾祭の中
でも新しい行事
です。昭和四十
九年度発行の松
田リサーチパークに設置するこ
とを明らかにしました。

ハリー・K・シゲタ特集 母校からアメリカ社会へ

テレビが普及して、三十有余年にな
ります。二十四時間放送に近い現在、
衛星中継で世界中の情報が自宅にい
て見ることが出来ます。また、民放各局が
競って多種多様な番組を制作放映して
おります。これは番組にスポンサーが
付く事により放映可能となる訳ですが、
ここにテレビCMという形で多くの映
像が我々の目に入ります。

現代社会で当然の様に受け入れられ
ているCMについて、根源をたどると、
我々の「ふるさと上田」と大変な関わ
りがある人物、ハリー・K・シゲタの
存在が明らかになります。本名、重田
欣二氏。明治20年に上田町(現上田市)
原町に生まれ、明治33年4月16日、上
田中学に入学。この時代、シゲタの生
まれた翌年、信越線上田停車場が開業。
明治23年には、上田橋の完成。上田地
方にも文明のあかりと、流通時代の幕
明けがおとすれようとしていた頃であ
ります。多くの青年が抱く様に、
シゲタも明治35年3月二年間の在籍を
もって上田中学を退学し(現在、上田
高校の原本には、外国留学のためと記
されております)大志を抱いて15歳の
シゲタは、米国に渡りシアトルにその

第一歩を記し、彼の地の生活が始まり
ます。幾多の苦難を乗り越え、写真界
が現在の様に分業化する以前に、E・ウ
エリントン、A・アダムス、E・スタイケ
ンなどと交友を持ち、シカゴ、ロソな
どに大規模なスタジオを持ち、後輩の
育成にも多大な努力をし、商業写真
家として名をなしました。アメリカ写
真家協会から商業写真の分野を確立さ
れたことで、名誉会員に推挙されてい
ます。戦前から戦後にかけて米国社会
の中で常に挑戦し続けたシゲタは、社
会との関わりを最も大切にしていた写
真家と言われております。

今、シゲタの作品とネガが、東京工
芸大学に保管されており上田市に写真
美術館が建設されれば、その全作品の
寄贈の見通しもあるとの事で、市民の
間からも早急に建設を促進しようとの
動きも出ています。
シゲタは「子どもの頃見た太郎山や
千曲川の清流を見たい」と、シカゴで
面会した水野鼎蔵元上田市長に語った
という。しかし昭和38年、アメリカで
75年の生涯を閉じました。
偉大な写真家の作品がぜひとも上田
に帰ることを市民は期待しています。



小さな夢を大きく育てたい

計測の先進機能を社会に
HIOKI



一九九〇年新版

日置電機株式会社

本社・工場 / 〒386-11 上田市小泉81 ☎0268-28-0555

クラブの戦績

班名	戦績
硬式テニス	春季県大会男子団体3位 男子個人ベスト8 国体県予選男子個人ベスト8(2人) 北信越ジュニアテニス選手権大会出場
スキー	県大会回転4位 全国大会回転22位
野球	新人戦県大会ベスト8
ハンドボール	新人戦県大会3位 春季県大会ベスト8
サッカー	新人戦県大会ベスト4 春季県大会ベスト8
剣道	新人戦県大会男子団体3位 北信越大会出場
吹奏楽	春季県大会男子団体ベスト8 平成3年吹奏楽コンクール県大会金賞 平成3年吹奏楽コンクール東大会銀賞 平成4年吹奏楽アンサンブルコンテスト サキソフォン四重奏銀賞 打楽器六重奏金賞 クラリネット七重奏金賞→東大会出場銅賞
山岳	県大会優勝 国体北信越大会出場 全国大会出場 中国青海省「野牛山」遠征
囲碁・将棋	県高校将棋選手権大会男子個人準優勝 県高校囲碁選手権大会女子団体準優勝 第5回竜王戦県大会男子個人優勝 全国大会2回戦進出
書道	全国高等学校総合文化祭に県代表として出品
美術	全国高等学校総合文化祭に県代表として出品
定時制	バスケット男子2位 女子3位 軟式野球3位 バドミントン男子個人ベスト8(2人) 女子個人ベスト8

新人戦は平成3年度 春季大会は平成4年度

東海大会出場—吹奏楽班—



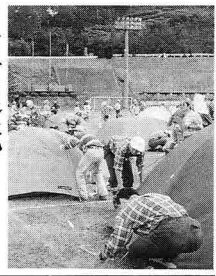
アンサンブルコンテストでも出場
 昨年八月吹奏楽コンクール県大会が長野市で開催された。本校は金賞を受賞し、長野県代表として九月に岐阜県で開催された東海大会に出場した。

本年一月に松本市で開催されたアンサンブルコンテストにはクラリネット七重奏、打楽器六重奏、サキソフォン四重奏の三チームが出場し、クラリネットと打楽器が金賞、更にクラリネットは県代表として、本年二月に静岡市で開かれた東海大会に出場した。

伝統のクラブ活動紹介

アンサンブルコンテストでも出場

三年連続
 インターハイ出場
 —山岳班—



今年の6月鹿島黒尾根で山岳の県大会が行われた。これに優勝し、山岳班は宮崎県北部に優勝し、山岳系で行われた全国大会に3年連続の出場を果たした。台風などで限定された日程の中でもインスペクトは行われ、78・3点の成績で登山行動を終えた。

全国高校総合文化祭に出品

—美術班・書道班—
 昨年八月に行われた全国高等学校総合文化祭に本校から、美術・工芸の部と書道の部に県代表として出品がされました。

美術の部の出品作品は田中裕二君の『自像』(油絵F50号)です。平成二年度の上下「七校展」出品者の中より優秀者二名が選出され、翌年自画像をテーマに取り組み、平成三年の全国展に出品されました。



書道は大会が行なわれた時期にふさわしい夏らしい漢詩を、少し硬めの文字にし、丈幅二行の作品を出品しました。

七年連続

インターハイ出場
 —スキー班—
 今年三年生の下平君は、インターハイをはじめ各大会で活躍している。回転競技では全国高校生ポイントランキング四位という好成績を収めている。

全国大会出場を応援

後輩の全国大会での活躍を応援しようと、これに出場する部に応援金を贈っている会がある。これは49期の松尾二十日会で、今年はスキー部と山岳部に贈っている。今後該当の部は顧問の先生から同窓事務局(上田市住吉(株真田内))に連絡するとい。

文化班紹介

—茶道班—
 茶道班は現在班員二十九名で毎週土曜日講師の先生に来て頂いて同窓会館で活動しています。活動内容は主に点茶に関することですが、それだけでなく日常生活におけるマナー、心がけといったことも教えて頂きます。今年の松尾祭も、延六百名という多くのお客様に来て頂き、班員全員で協力して大盛況のうちに終わりました。



最近一年間 母校への奇贈品

第五十九期 卒業三十周年記念
 パソコンシステム及びソフト一式

第42期(昭和18年卒)同期生各位に告ぐ!



42期

明平成5年は卒業50周年を迎えるに当たり、去る7月8日の同期会(上山田温泉清風園)にて下記の記念事業を決定しました。格別のご協力をお願いします。 平成5年9月実施予定

1. 恩師4名、同期生44名の物故者法要の件。
1. 全員寄稿による記念誌発刊の件。
1. 母校或いは同窓会に対する記念事業の件。

- | | |
|--------|-------|
| 同期会会長 | 杵掛 信敏 |
| リ 会計 | 保刈 定美 |
| 代議員代表 | 田澤 芳徳 |
| 代議員 | 島田陽太郎 |
| 代議員 | 花岡 尚 |
| 代議員 | 山崎宗太郎 |
| 代議員 | 小泉 憲一 |
| 本部副理事長 | 水野 春海 |
| 関東同窓会長 | 横山誠之助 |

**国連大使に
丸山俊二氏(54期)就任**



東大法学部卒。昭和三十六年外務省に入り、サンパウロ総領事を経て、平成二年七月から駐ブラジル大使。本年八月一日、国連日本政府代表部大使に就任。

節目を迎えた同期会

【40期】昭和16年卒業の我々40期生にとって、昨年は卒業50年の記念の年であった。昭和63年に文集「古城の門」を発売、昨年は50周年記念事業として、ビデオテープ「古城の門」を作成した。共に出色の出来栄えとの評である。来年の例会は6月11日、中軽井沢・星野温泉で開催と決った。母校を誇りとし、同窓会の発展を一心から願っている。 (小宮山裕記)

通称「50会」は月例会をかきず行い親交を暖めている。また同期の裴滋君の農林水産事務次官就任祝賀会、母校90周年記念大会の講演者として招へいた高島通敏君(立教大学教授)の歓迎会、最近では、東京映画のロケで当地方を訪れた高倉三郎君との交流会など事ある毎に集っている。尚、毎月15日の例会は、母校近くの桂旅館に行っていますので、上田にお立ち寄りの節は大歓迎を致しますので、是非ご参加戴きますよう(ご案内致します。 (小野沢洋記))

【60期】卒業30周年記念総会が7月11日(土)、上田商工会議所5階大ホールにて盛大に開催されました。金子八郎同窓会理事長の祝辞、瀨川実行委員長の挨拶、母校への記念品目録贈呈、藤沢愛徳学校長のご挨拶と謝辞、恩師の先生方のご挨拶と式典は終了した。懇親会に移り、参加者のコミュニケーションが活発に行われ、宴たけなわで木下敏

【70期】ガンバッテます 70期国内外にご活躍の70期の皆さん甲子園に始まり、第1回同期会90周年記念事業、そして、今年卒業20周年記念第2回同期会にと、ご協力を賜り、お陰様にて同窓会へ、金10万円寄付する事ができました。有難うございました。我々地元(有難うございました)の七〇会も一度の会合を欠かさず、一報母校に事ある時は、逸早く一報差し上げるべく頑張っております。70期の皆様の益々のご活躍をお祈り致します。尚、住所等変更された方は同窓会事務局まで

柳沢恒夫先生 平成4年2月27日逝去。
昭和48年より52年まで校長。
半田近夫先生 平成4年7月10日逝去。
昭和40年より51年まで在職。



(山岸巳津雄記)

OB会 つうしん

剣道部 会長 村上和夫 副会長 塚原忠男・宮下力 会計監査 萩原秀治。毎年後援会費を現役の大先輩(事務局) 上田高校内 丸山温 費等の補助金として贈る。

水泳部 「松泳会」会員数二六四名、8月14日総会開催(同窓会館五十名参加) 現役とOBの対抗戦を行う。優秀つかず。なお、未だ連絡のないOBの方はぜひご一報を。 (事務局) 上田市御所下満丁191-1 上田スイミングクラブ内 代表 滝沢武

軟式庭球部 総会はお盆前後の土曜日か日曜日の予定。昼間は参加者による親睦試合を夕方より総会、懇親会を開催。日時、場所等は決定次第事務局より通知する。(事務局) 上田市常磐城1-1-45 富貴内星谷博信

硬式テニス部 第24回総会8月15日開催(安江先生はじめ約40名参加) 昼はダブルスの試合、夜は懇親会と盛大に行われた。現役にテニスボール2箱を当日寄贈した。

会長 滝沢助右衛門(事務局) 上田中央西1-11-1 小山会計事務所内 小山秀喜

スキー部 '98長野冬季オリンピック選手強化の一環として、県スキー連盟の春季欧州FIS(国際スキー連盟)レース転戦遠征メンバーに、本校三年生の下平匠君が選ばれた。コーチとして同行の本校OBの伴一彦氏と共に、欧州五カ国(フランス・イタリア・リヒテンシュタイン・オーストリア・スイス)を3月上旬より約一カ月に渡り転戦した。オーストリア選手権等では、ほぼ目標通りのFISポイントを獲得した。得意の回転競技では、現在全国高校ランキング第4位に位置しており、来年2月開催の地元インターハイ(小谷・梅池高原)での上位入賞が期待される。(スキー部としては8年連続出場)

(事務局) 上田中央2-2-14 甲州屋伴商店内 伴一彦 **バレーボール部** 昭和21年運動部の復活によって母校に初めて誕生して以来、平成8年には創部50周年を迎えるため、OB会として記念事業を行う計画があり、近日中に地元OBによる準備会が開かれる。

ボールの手縫い補修、屋外コートで汗と泥まみれになってインターハイ全国第3位、女子バレーボール部創設など半世紀を刻む記念史や名簿を作成の予定。で、ご一報下さい。

62期 もうすぐ卒業30周年を迎えます。

昭和39年卒業

62期会では毎年、同期会・ゴルフコンペ等を企画しております。同期の方多数ご参加下さい。

同期会会長	大久保 陸 男
クラス幹事	1 小宮山伸二 5 柄沢 堯
	2 大久保陸男 6 吉沢 勝
	3 小林 悦夫 7 城田 亮
	4 青柳 武夫 8 水科 明

平成4年5月31日に行われた有志のコンペ(於小諸高原GC)



母校の四季.....初夏

同窓会取扱図書のご案内

お申し込みは同封郵便振替用紙で。(送料共)

- 1. 同窓会会員名簿 ￥4,000
(1990年版・同窓会編)
- 2. 上田高等学校史「草創編」 ￥1,500
(明治8年～明治32年・倉沢 剛著)
- 3. 上田高等学校史「中学前編」 ￥3,000
(明治33年～大正15年・柳沢文秋著)
- 4. 上田高等学校史「中学後編」 ￥3,000
(昭和2年～昭和22年・校史編纂会編)
セット価格 3. 4. の二冊一組 ￥5,000
- 5. 高校風土記「上田高校ものがたり」 ￥1,800
(毎日新聞 102回連載・林邦雄記者著)
- 6. 上田高校柔和会史 (柔和会編) ￥5,000
- 7. 「上田高校野球部史」(野球部後援会編) ￥1,000
- 8. ブロンズ「ミニ校歌碑」 ￥2,500
(47期卒業30周年記念作品)
- 9. 戦後上田高校野球部史 ￥4,000
(昭和21年～32年)新美欣也編集

ご注意

同窓会の名前を利用して、調査カードその他が発送されておりますが、送付先が「上田市大手1-9-8 上田高校同窓会」宛以外はすべて同窓会とは関係ありませんので、十分ご注意ください。
—事務局—

「戦後上田高校野球部史」発刊
(昭和21年より32年まで) 伝統と栄光に輝き、九十有余年の長い歴史を持つ上田高校野球部の足跡の中でも、黄金期として開花した昭和21年より32年までの「野球部史」が、多数の

九十周年の記念事業が生んだ
「自習室」の利用好評!

創立九十周年の記念事業の一つとして、同窓会館一階の旧食堂を自習室(冷暖房完備・定員五十名)に改装して生徒に開放したが、放課後・日曜祝祭日の利用が盛んで好評である。特に

OB各位、また同窓会関係者の熱意と努力の結果のもとに見事に発刊された。
(別取扱図書欄を参照)

第70期が同窓会に寄付金

第70期(昭和47年卒)では、今年一月卒業20周年を記念して盛大な同期会を開催したが、記念事業の一端として「同窓会館の運営基金の一部にして欲しい」と金一封を寄付した。

依田先生「刻字作品」を寄贈

国語科依田勇作先生(54期)は、樺板に「古城崖下千曲水」と彫り込んだ刻字作品の力作を同窓会に寄贈された。縦50cm・横130cmの大作で、同窓会館ホールに掲額された。

◆編集後記◆

ことしの残暑は、殊のほか厳しかったが、編集委員も「見て読んでもらえる会報」をめざして、数回にわたる会議を開き、意見統出で燃えていた。出来上ってみて「まだまだ」の感があり、諸兄の叱声を待たばかり。「横笛一声天地秋」(横山)

同窓会報編集委員

- 佐藤 専太郎 44-4 横山 二男 47
- 青島 二郎 49 依田 勇作 54
- 香山 裕 55 田辺 昭夫 57
- 増田 幸一 64 小林 光夫 66
- 土屋 陽一 73 田村 俊一 77
- 増田 恵都子 84 (数字は卒業期)

しずく
飯島商店
四季のジヤム

上田市中央1-1-21
☎0268-23-2150